令和2年度 課の運営方針書

環境生活部　生活安全課

1　課の運営方針

【課の使命】

安心安全に生活できる地域社会の実現に向けて、市民・関係機関・行政が連携し、交通安全の推進、犯罪の防止、犯罪被害者への支援等に取り組みます。
市民の消費生活等に係るトラブルを未然に防止するために、相談体制の強化や啓発に努めます。

【課の目標】

①自治会等が取り組む防犯灯の設置を支援し、暗くて通行に支障がある場所や通学路等における安全性の向上を図り、犯罪被害の防止に努めます。

②相談体制の強化と消費者教育の充実を図り、各世代に対応した消費者被害防止に努めます。

③交通教育センター施設分類別計画に基づき、老朽化した管理棟とトイレを建て替え、交通安全教育の拠点としての機能強化を図ります。

④高齢者や外国人に対する交通安全教育の充実を図り、交通安全に関する知識の普及や技術の向上に努めます。

⑤周南市交通安全対策推進協議会等との連携強化を図り、令和3年度から令和7年度までの本市における交通安全計画の策定に取り組みます。

【働き方改革による業務改善等の取組】

.交通教育センター整備事業は、管理棟及びトイレの建替えにより、施設が安全で快適なものとなり、施設利用者に対する交通安全意識の普及・啓発を一層進めることができます。また、そこで勤務する職員へ快適な職場環境を提供すると同時に、効率的な施設運営が可能となります。
地方消費者行政推進事業は、dーラーニング等による情報収集に努め、職員研修の見直しを行います。また、メールしゅうなんやホームページ等の積極的な活用により、迅速で効果的な周知啓発をしていきます。

2　担当（係）の使命（果たす役割）

（生活安全担当）　安心安全に生活できる地域社会の実現に向けて、市民・関係機関・行政が連携し、交通安全の推進、犯罪の防止、犯罪被害者の支援等に取り組みます。
（市民相談センター・消費生活センター）　市民の消費生活等に係るトラブルを未然に防止するために、相談体制の強化や啓発に努めます。

3　課の経営資源

（1）課の体制

職員数	11 人	うち	正職員	6 人	・	会計年度任用職員	5 人

人件費	正職員	44,064 千円	会計年度任用職員	10,081 千円

※H30職員平均給与（　7,344　千円）ベース　　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	76,901 千円	歳出予算額	105,896 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算事業数	11 事業

環境生活部　生活安全課

４　課の中期目標（優先順）　第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 ２　安心安全な暮らしの実現	自治会等のLED防犯灯及びカーブミラーの設置を支援することにより、市民生活の安全性の向上に努めます。
2	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 ３　消費者安全の確保	複雑・高度化する相談に対応するため、消費生活相談員等の資質向上に努め、消費生活相談における助言やあっせん等を実施することにより、消費者被害を未然に防止します。また、「周南市消費者見守りネットワーク協議会」を通じた活動により、高齢者・障害者等の消費生活を見守ります。
3	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 １　防犯運動・交通安全運動の推進	警察や周南市交通安全対策推進協議会等と連携し、防犯パトロールや消費者被害拡大防止等の取組を実施します。また、「交通事故0の日」周知や高齢者等の交通事故未然防止に向けた取り組みを行うとともに、交通教育センターでの交通安全教育の実施を通じて、安心して生活できるまちづくりを推進します。
4	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 ３　消費者安全の確保	消費者被害の未然防止・早期発見に向けた啓発活動を実施するとともに、各年代に応じた消費者教育を推進することにより、自立した消費者の育成を図ります。